

顕彰状

ペーター・マウラー氏は、1956年スイスに生まれた。首都ベルンで歴史と国際法を学び博士号を取得した後、1987年スイス外務省に入省。1996年に国連スイス政府代表部副常任オブザーバーとしてニューヨークに赴任。その後2000年にベルンのスイス外務省本部大使兼人間安全保障課長に任命される。2004年、氏はニューヨークの国連本部におけるスイス大使および常任代表に任命され、当時国連に加盟したばかりのスイスが多国間ネットワークの一員となることに尽力した。2009年6月、国連総会において行財政委員会（第5委員会）の議長に選出されると同時に、国連平和構築委員会のブルンジ展開部委員長に任命される。2010年1月にスイス外務長官に就任。こうした外交官としての活動が評価され、2012年7月1日にヤコブ・ケレンベルガー氏の後を受け、赤十字国際委員会(ICRC)総裁に就任した。

1863年に設立されたICRCは、ジュネーブ諸条約および国際赤十字・赤新月運動を創設した団体であり、公平、中立かつ独立した組織として、武力紛争その他暴力を伴う事態によって犠牲を強いられる人々の生命と尊厳を保護し、必要な援助を提供することを使命として掲げる。こうしたICRCの活動は世界が高く評価するところであり、1901年に創設者アンリー・デュナン氏が受賞して以来、これまでにノーベル平和賞を3度受賞している。現在、マウラー氏のリーダーシップのもと、ICRCは80以上の国と地域で人道支援活動を実施している。氏が総裁に就任した後、ICRCの活動予算は、2011年の11億スイスフランから、2016年には18億スイスフランまで増加し、紛争の犠牲を強いられている人々のニーズを満たし、様相が変化する武力紛争に的確に対応する支援が実現されてきている。各国政府や関係する全てのアクターと対話を行い、国際人道法および世界共通の道徳的諸原則を普及・強化することによって人々に苦しみが及ばないように尽力するとともに、技術革新や新たなパートナーシップの構築により、革新的な解決策の発見や支援の効率性の向上を実現してきた。

過去、ICRCは、二つの世界大戦に伴い、日本に駐在し活動を実施した。第一次世界大戦では、日本とシベリアで抑留された戦争捕虜を対象に、収容所の訪問を実施。第二次世界大戦では、日本に代表部を設置（1942～49年）し、捕虜を収容所に訪ね、広島における被爆者の支援・保護を行っている。そして、70年前には国際社会から支援を受ける側だった日本は、今では支援を行う側に身を置き、ICRCの主要ドナー国のひとつとなり、ICRCは日本を戦略的パートナーと位置付け、2009年には日本に駐日事務所を開設した。

駐日事務所開設以来、ICRCは、早稲田大学と連携しながら、将来を担う日本の若い研究者・学生に対して、人道的価値および国際人道法を普及させるための継続的な取り組みを実施している。早稲田大学は、2010年以来、国際人道法を机上の学問としてではなく、武力紛争時に実際に適用されるルールとして学生の理解を深める目的で、国際人道法模擬裁判大会の開催を積極的に支援している。また、2016年からは、ICRCと早稲田大学の共催により、報道の仕事を目指す若い人たちが人道的視点を持って取材にあたることを学ぶ機会として、ヤング・リポーター・コンペティションを開催。2016年にマウラー氏が来日した際には、早稲田大学を訪問し、ジャーナリズムに関心を持った学生と直接対話をし、日本の外で起きている様々な人道問題への対応や、紛争地の現状を伝える報道の役割などについて討論を行った。また、ICRCは人道的活動や人道法に興味のある早稲田大学の学生を数多くインターンとして受け入れている。

早稲田大学の創業者・大隈重信は、日本赤十字社の前身である博愛社の創設者・佐野常民と佐賀・弘道館で共に学び、1888年には進んで赤十字社の社員となっている。早稲田大学は、その歴史においても、また教育・研究活動においても、赤十字・赤新月運動の基盤にある人道主義が最も息づき、こうした活動に多くの人材を輩出してきた大学であり、世界各地に自ら赴き、対話を重ね、人道支援活動への努力を惜しまないマウラー氏の姿は、早稲田大学のすべての学生、紛争地域を含めた海外からの留学生にとって模範とすべきものである。世界の平和と人類の幸福の実現に貢献をするグローバル・リーダーの育成を目指す早稲田大学にとって、マウラー氏に名誉博士の称号を贈呈することは誠に時宜にかなっているというべきである。

ここに早稲田大学は、ペーター・マウラー氏に
名誉博士 (Honorary Doctor of Laws) の学位を贈ることとした。

学問の府に栄えあれ！

大学が栄誉を与えんとする者を讃えよ！

(*Vivat universitas scientiarum! Laudate quem universitas honorabit!*)

2018年11月20日

早稲田大学